第5回　市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議
会議録

日　時　　令和 8 年 10 月 27 日（火）10 時 00 分から 11 時 30 分

場　所　　周南市役所　庁議室

出席者　　・委員 10 名

榊原 弘之、河野 拓也、鶴田 来美、稲垣　円、桐生 智晃、

山本 佐智子、原田 宗隆、松本 久美子、西﨑 博史、児玉 真

・事務局 9 名

企画部長　林　真也、企画部次長　柿並 裕司

企画部企画課市民館跡地利活用推進室

室長　中村 成孝、室長補佐　近松　昌哉、主査　濱本　亮

文化スポーツ観光部次長　川上　浩史

文化スポーツ観光部　文化振興課　課長補佐　山本　真琴

こども未来部次長　大木　清広

こども未来部　あんしん子育て推進課　主幹　宮崎　優子

・株式会社シアターワークショップ　伊東、古川

資　料　　・会議次第のとおり

会議録

1 開会

◇事務局　　定刻となりましたので、ただ今から、第 5 回　市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日の進行を務めます、周南市企画課の中村と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議は 10 名全員の委員の皆様にご出席いただいております。

2 議事：(1)市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案について

◇事務局　　それでは、これより議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第 6 条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長、どうぞよろしくお願いします。

◎会長　　それでは始めさせていただきます。

議事進行につきまして、委員の皆さまのご協力をよろしくお願いします。それではこれより議事に入りますが、本日の議事は 3 つございます。

最初に議事 1 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案についてです。

それでは事務局から説明をお願いします。

◇事務局　　（資料を基に説明）

◎会長　　ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、ご意見・ご提案がございましたらお願いします。

◎会長　　基本構想についてはこれまで議論していただいたことが書かれていると考えています。基本計画については、より具体的な、設計の要件になるような内容もあると思います。これらについて、もし加筆した方が良いといったご意見があればお願いします。

●委員　　復習しながら拝見しました。現在、市全体ではいろいろなものを整備しないといけない中で、全体で市の魅力をあげていくことを考えると、施設の規模についてはある程度縮小していくことはやむを得ないと考えます。縮小しながらも機能を十分活かさなければいけないという懸念があるため、配慮していただきたいです。

小ホールも本当は固定席になってほしいと思いますが、文化会館では果たせない役割をここに求め、まさに市民活動の拠点となる役割を盛り込んでほしいです。展示室・ギャラリーといった機能も大切で、よりそれらを充実させてほしいと思います。文化会館にも練習室がありますが、ほとんど埋まっている状態で、展示室についても週末は予約が取れない状況です。それだけこの町の活動が活発であるということだと思います。それに対応できるだけの各機能をしっかり目配りして、そこを充実させていただくと、まさに拠点施設としてこれからも活かしていけると思います。

◇事務局　　先般よりご説明しているとおり、規模の縮小と機能は別物であり、機能は充実させながらも規模は効率化を図ったと考えています。多機能に、いろいろな方が複合的に集まっていただく施設ということを考えて、一番本丸である活動しやすい空間づくりについては意識して整備していきたいと考えます。練習室やギャラリーについては、この事業が立ち上がったときからお声をたくさんいただいている部分ですので、しっかりと反映していきたいと考えています。

●委員　　p. 56 施設の配置、p. 63 整備スケジュールについて、整備フローに沿って考えると、1 期・2 期の建設時期がスケジュールにも反映されているとわかりやすいのではないでしょうか。

また、全体で 8 年かかるということで、自分も何度か若者のワークショップを拝見してとてもよかったのですが、また今後若者が求めるものには変化はないとは思いますが、もし変化があった場合にどう対応していくかを言及していけると良いのではないでしょうか。

◎会長　　p. 63 スケジュールについて、p. 56 の各期がどこに当てはまるか、非常に長期のプロジェクトとなる中で、そのプロジェクトの管理については改めてご説明をいただいた方が良いかと思います。

◇事務局　　整備スケジュールについては山口銀行の整備スケジュールにも関連するため、表現方法を検討いたします。

長期にわたるプロジェクトであるという点について、今回策定する基本構想・基本計画についてはプロジェクトの根底にあたるところを定めています。大枠は変わらないということを前提に、ソフト事業についてはもちろんこの場所でやっていくことではありますが、他の場所でもできる内容もあります。他の場所でやっていたことが将来的にはこの施設でやっていけるように、ソフトの形が変わっていくこともあるでしょう。施設の整備計画を進めると同時に施設管理の在り方も検討していくイメージです。

◎会長　　後者についてはよろしくお願いします。前者については、p.63 はどちらかというと市主体の整備スケジュールが書かれていると思います。P.56 は他の整備主体も混在している書き方になっているので、そこが確かに市民にはわかりにくいところかもしれません。1 期・3 期・4 期整備については市主体整備なのでそのあたりは明記できるのではないかと思います。ご検討いただければと思います。

2 議事:(2)市民館跡地エリア整備基本構想･基本計画素案に関する意見書(案)

◎会長　　続いて議事 2 市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案に関する意見書（案）です。こちらにつきましては、私から説明します。

（資料を基に説明）

意見書案では、これまで本会議で議論し、いただいた意見について 1.市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案に関する事項、2.施設整備に係る今後の検討事項の 2 つに分類し、整理しております。

最終的にまとめたものを本有識者検討会議の意見書として、市へ提出する予定としています。

それでは、ご意見がある委員の方は挙手をお願いします。

●委員　　文化小ホール機能について、1,800 席の文化会館との「分担」を明確にする必要がある、といった明記にしてもらえればと思います。文化会館の稼働率が低下する、と書いてあるのを「分担」にしてもらえたら、と思うのですがいかがでしょうか。

◎会長　　小ホールの役割、といったところで表現されているのではないでしょうか。文化会館でも比較的小規模なイベントもやっているので、それらが文化小ホールに移ることで文化会館の稼働率が下がるのではないか、といったご意見だったかと思います。

例えば、2 行目に「役割分担」といった、2 つの施設が生きるような使い方が必要である、といった表現に変えることはできると思います。

●委員　　稼働率が低下するという言葉ではなく、役割分担を明確にすることによって、文化会館の利用に影響がある、といった言葉の方が良いかもしれません。

また、私が気になったのはユニバーサルデザインというキーワードが使われているのが小ホールだけであることです。小ホールだけではなく施設全体・エリア全体がバリアフリーのことも、意識するということを言った方が良いのではないかと思います。当たり前だと思うかもしれませんが、書かないとわからないのではないでしょうか。

◎会長　　１の基本理念または施設機能のところでコメントをした方が良いでしょう。エリア全体についてユニバーサルデザインの考え方にもとづいて設計をしてほしいということを記載し、基本計画のところにも反映をしてほしいと考えます。

文化会館の稼働率については、文化会館と小ホールの役割を明確にして、利用状況に影響が出ないようにするべきである、といった言い方としたいと考えます。

●委員　　文化会館だと大きすぎて活動ができない、といった方たちが文化小ホールを利用するのだろうと考えていました。新しいホールではより活動がしやすい、といったプラスの方向性で記載する方が良いのではないでしょうか。

◎会長　　役割分担を果たしながらも、それぞれが機能を発揮する、といった表現に改めたいと思います。

●委員　　文化政策全体として、文化会館をどうするのかといったところにも関わってくると考えます。利用者が流れていくというのは文化会館側の問題でもあります。文化会館側が今後の利用をどう考えていくのかをはっきりさせないといけないと思います。市としてはどうお考えかは聞いておきたいところです。

◎会長　　文化会館の有効活用についてまで言及して良いかどうか。文化会館の存在を念頭に議論をしてきた経緯はあると思います。その存在は前提条件であると考えていました。小ホールのことだけ考えていて良いのか、文化会館のあり方についても言及をして良いのか、市のお考えはいかがでしょうか。

◇事務局　　本市には大きな文化会館というものが存在していることを前提として計画しています。文化会館とのすみ分けということも計画本文には明記しているので、当然認識をしていますし、是非ご意見をいただければと思います。

●委員　　書かなければならないというわけではないのですが、市としては重要なポイントであると思います。これから実際に、文化会館の改修にはお金がかかると思います。文化会館とのバランス、そういった書きぶりでも伝わるとは思います。

●委員　　p. 40 に文化会館と文化小ホールの機能分担といったところにも明記されていると思います。このあたりのキーワードを引用することでも良いのではないでしょうか。

●委員　　今回の基本理念である文化と暮らしがうまく結びつかない人もたくさんいます。私自身、子育てをしているときに文化が遮断されている時代が何十年もありました。意見書の中の「誰もが使える施設となること」というのは、言葉では簡単ですが、「さまざまな障がいを持つこどもも含めすべての人」、といった表現については、「誰一人取り残さない」、など別の表現もあるのではないでしょうか。30 代女性の体力が低下しているという報告もあった通り、地域交流にも文化活動に参加できない人も多くいます。そういったこともキーワードとして含めることで、自分たちが市民館跡地エリアに興味を持って、自分事として捉えてほしい、メッセージをもう少し入れられると良いのではないでしょうか。つながりを持てる、というのがキーワードだと思います。

◎会長　　p.5 誰もが使える、といったところが障がいを持つこどものみの言及となっていますが、より多くの人を包含するような表現にしてはどうか、というご意見かと思います。表現を変える、みなさんが使えるようにということでありますが、ご指摘いただいた内容が伝わるような文言に変更したいと思います。

●委員　　もともとこの場所に保健センターがあり、そこへ新たに文化というものが加わるという経緯があります。この場所という意味がすごく大事だと思いますが、保健センター機能が文化に引っ張られて薄らいでいるのではないか。そのあたりもありきということが大事だと思います。どの年代にも当てはまることだし、それがあってこその文化であると思います。みんなが元気であるということがあってこその文化なのかなと思います。

◎会長　　いまの意見書が文化ということがメインになっているので、保健センター機能、既存機能を維持するといったことを書いた方が良いのではないかというご意見ですね。誰もが使える施設、といったところに加筆できるかもしれないです。

●委員　　個人的には、ソフト事業を自分事として捉えられる仕組みづくりであったり、多様な人たちがここで活躍するということについて、意見書に書く内容なのかと思います。そもそもの基本理念が令和 6 年に定められたものであり、サードプレイス、周南市らしさ、愛される施設、まちへの愛着というのは令和 6 年に、いろいろな世代の方が市民ワークショップに参加されて出たものです。今後キープレイヤーになっていくであろう人も参加していました。多種多様な人が基本理念をつくるのに携わっており、子育て世代のご意見もありました。できれば基本理念をつくった経緯、第 2 章のところに令和 6 年からのいろいろなニーズを経て、多種多様な方のご意見・ワークショップの結果をふまえて述べられると良いのではないでしょうか。今回、最後のワークショップにわざわざ令和 6 年ワークショップ参加者の方が参加されて学生たちがどんなことを言っているのか聞きに来た方もいらっしゃいました。市民の方のご意見をお聞きしてたどり着いたという経緯を基本理念の所に示した方が良いのではないでしょうか。

◎会長　　基本理念に反映していただくことは可能であると思います。例えば、意見書のところで、p.3 学生ワークショップとあるが、それだけでないご意見について言及した方が良いのではないか、という意見で良いでしょうか。

●委員　　今回学生に絞ったというのは前回多種多様な方へのご意見を聴取していたという経緯があったと思います。成長に特化したというのも、これから使っていく人たちの意見を聞こう、ということだったと思います。令和 6 年度に聞いた意見も継承したうえでこの基本構想が定められているということです。

◎会長　　学生ワークショップというところは市民参加、という書きぶりにして、広い市民の参加に基づいてまとめている、という書き方にした方が良いということですね。基本構想の書きぶりについては考えていただきたいです。意見書も市民参加といったキーワードで加筆する方向で考えたいです。

●委員　　これまでも活動してきた人たちの意見を聞いてきました。意見を聞きながらどういった方向性でまとめていくかを検討してきたと思います。それらを前段に述べることが市民にとっては親切でしょう。

◎会長　　p.5 施設整備の今後の検討事項のホワイエの言及について、ここに関して現在の書きぶりはどちらかというと、空間を柔軟に使うという方向の書き方になっていると思いますが、一方でホワイエは大事だという意見もあったと認識しています。固定のホワイエは確保しなくても良いかもしれないが、他との混在は避けるべき、というようなお話でもあったと思いますが、現在の表現で良いでしょうか、もう少し要件について言及した方が良いのかどうか、ご専門のお立場からご意見をいただければと思います。

●委員　　程度問題だと思います。ホールを借りた人が困ると思います。よくある会館のようにホワイエをクローズドにしてしまうと機能を果たせないということを。うまく使い分けていくしかないのではないでしょうか。設計図があればいろいろ言えますが、観念的にすごく言いにくい部分です。うまくやってねとしか言いようがないですが、例えばホールを借りた人がもぎりをどうするのか、ロビーの設定をどうするかといったときに、他の人が入ってきて邪魔しないようにしないといけないですし、逆に使われていない時間も多くなります。すべてクローズドにしてしまうと交流機能を果たせず、そういうことを運用の仕方として考えていった方が良いと思います。

◎会長　　兼用にウェイトが置かれすぎているかもしれません。小ホールの活動に影響を与えないように、などそういった一言があった方が良いのではないかと感じています。

●委員　　ホワイエで音を出されても困るので、書いた方が良いと考えます。

●委員　　重ね使いという言葉も使われていたので、ホワイエも含めて、ということでも良いかもしれません。

●委員　　ホールを使う人はホワイエも生かした使い方をしていくことが必要である。そういった使い方をしてもらえるような施設管理をしていけるでしょうか。これからの時代、「そこへ行けば楽しい」こどもも含めて保健センター機能も含めて融合していけるような、新しい取り組みがここで誕生して、そういう活動が生まれると良いです。

◎会長　　これまで挙がった意見をまとめますと、次のような点だったと思います。

・学生ワークショップというところは市民参加というキーワードとし、令和6年度の多様な市民との対話をしてきた経緯についても言及をするということ

・基本理念・施設機能について、エリア全体についてユニバーサルデザインを考慮すべきであると言及すること

・文化小ホール機能について、文化会館との役割分担という点、利用状況に影響しないという点、それぞれを活かすような方向で考えていただきたいということ、p. 40 の言葉を引用して表現をすること

・設計与件として、ホワイエについては重ね使いを前提としつつも、文化活動に影響が出ないように検討する必要があること

・誰もが使える、という点については、誰一人取り残さない、というようないろいろな方を考慮するような記述とすること

・もともと保健センター機能があった場所ということで、その機能は維持することに言及した方が良い

こちらの意見書については会長・副会長に一任いただければと思います。もしかすると個々の委員へ個別に確認をさせていただくこともあるかもしれません。そのような形で最終的な取りまとめとさせていただきたいと思います。

2 議事:(3)今後のスケジュール(案)

◎会長　　続いて議事３　今後のスケジュール(案)です。事務局から説明をお願いします。

◇事務局　（資料を基に説明）

◎会長　　ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、ご意見・ご提案がございましたらお願いします。

パブリックコメントを実施されるということですが、ユニバーサルデザイン等についてはこの段階で盛り込んでいただければと思います。

その他特にご意見がないようですので、以上で全ての議事が終了となります。

では最後に、「その他」として、事務局から連絡事項等をお願いいたします。

3 その他

◇事務局　　皆様、お疲れさまでした。本日の会議の内容につきましては、これまでと同様に議事録を作成し、皆様にご確認いただいた上で、市のホームページに掲載させていただきます。

今回の「市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画素案」につきましては、年明

け 1 月ごろの完成を予定しております。完成の際には、委員の皆様にも共有させていただきます。

これまでご多忙の折にも関わらず、5 回にわたる会議にご参加いただき、誠にありがとうございました。皆様の貴重なご意見とご協力により、実りある議論を進めることができましたこと、心より感謝申し上げます。今後ともお力添えをいただけますようお願い申し上げます。事務局からは、以上です。

◎会長　以上で、本有識者検討会議のすべての日程を終了いたしました。委員の皆様におかれましては、大変お疲れ様でした。また、スムーズな会議の運営にご協力いただき、感謝申し上げます。先ほども申しましたように、本日いただいたご意見については、副会長や事務局と調整した上で意見書として整理し、周南市へ提出します。それでは、進行を事務局にお返しします。

4. 閉会

◇事務局　今回が最後となりますので、市長の藤井律子より、みなさまにご挨拶申し上げます。

市長　本日は大変お忙しいなかお集まりいただき、ありがとうございました。今年の 3 月から 5 回にわたり皆様の専門的な立場で熱心な議論をしていただき、また、貴重なご意見を頂きましたこと御礼申し上げます。文化小ホールの見直しがあり、皆様にはご負担をおかけしましたが、柔軟なご対応いただきありがとうございます。

なお、見直しは行いましたが、文化芸術活動の場として期待される役割を確保しつつ、より多様で自由なホールとなるよう引き続き検討してまいります。今後とも本事業へのご協力を賜ります際にはよろしくお願い申し上げます。

皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

◇事務局　本日はありがとうございました。以上をもちまして、「第 5 回　市民館跡地エリア整備基本構想・基本計画に関する有識者検討会議」を終了いたします。お疲れさまでした。